

初製作における失敗集

新入部員の阿部です。私は今回初めて本格的に模型製作に取り組みました。その際、合わせ目消しや塗装などの技法を学んだのですがどうしても模型作りにおいては感覚的なものが必要で初めからなかなか上手くいくものではありません。これから模型を作ってみようという人へ向けてせめて自分のしたような失敗をしてほしくないと思い、自らの失敗集を載せることにしました。

・合わせ目消しにおいて



左上は寒冷地仕様ジムの太もも部分です。段差部分に合わせ目が残っているのがわかると思います。

左下の画像は戦車の砲に合わせ目が残ってしまった図です。今回は合わせ目消しをする際にセメントという接着剤を使う最も有名な方法をとったのですが接着剤を塗る面積が広く量が足りなかったり、作業中に乾いてしまうことでこのようになってしまいます。一方、右下は合わせ目を消そうとして削りすぎてしまった図です。段差がすっかりなくなってしまうですね。銃や砲などのパーツは流し込みタイプのセメントを使った方がより楽になるそうです。

・サーフェイサーにおいて



サーフェイサーが濃すぎて表面がザラザラになっています。濃度の調整はわかりづらいもので、感覚的なところが大きいです。先輩の言葉を借りれば、エアブラシが苦しくないような濃さで吹けばいいということです

・デカール貼りににおいて

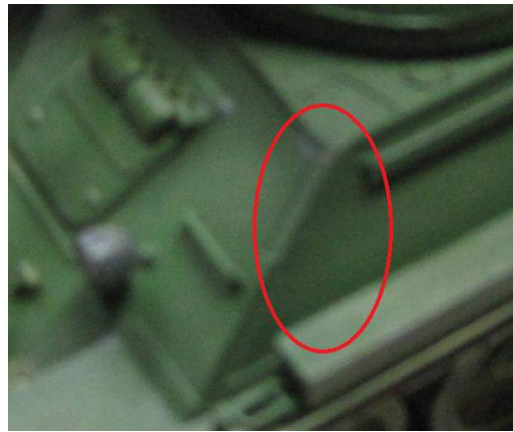


今回使用したデカールは水転写式のものです。画像から見て剥がれているのがわかります。これは一度で狙いの場所に貼れず貼りなおしたところ貼る力が弱くなって剥がれてしまいました。初心者が一発で狙いの箇所に貼ることは難しいです。マークセッターを用意しておくことをおすすめします

・塗装において



写真では少しわかりづらいですが、表面がザラザラしているのがわかるでしょうか？これはホコリによるものです。塗装前にはパーツから化粧用の筆などを使ってホコリを落とすおきましょう



次はシャドー吹きについてです。右上の画像では少しシャドーがのっているのが見えます、しかし左下の画像では全く見えません。これはエアブラシコントロールが下手で隅や角の立つところに細吹きができていないため、全体がただ暗い色になってしまったのです。左上の画像を見れば砲塔だけ色が濃くなっていることがわかります。初めてやると加減がわからずシャドーを過剰に吹いてしまいがちです。少し控えめに吹いて時間を置いてから作品を見直し、修正といった具合に作業を進めた方が無難でしょう。

いかがでしたでしょうか、これから模型を作り始める人の失敗を少しでも減らせたならば幸いです。もちろん私も技術を磨き作品をよりよくしていこうと思います。



琥珀式☆ 簡単ジオラマ製作術

～✂️ 📐 🪄 🪄 🪄 🪄 🪄～

解説/ 鋸華 琥珀

◆はじめに ～🪄🪄🪄🪄🪄🪄～

ジオラマ…それは作った模型に世界観や物語を与え、見る人により強い印象を与えることができる手法…。それ故に製作には高い技術力を要し、費やす時間や費用も増加するもの…。と、一般的には考えられると思います。ええ、きっと。

しかし、Hobby JAPAN等の模型雑誌を眺めているだけよりも、実際に手を動かし、自分で完成させる喜びを感じて欲しい!という思いがあります。

そこで今回、身近に手に入るツールで簡単なジオラマを製作する、という内容のHow Toを書かせてもらいます。

一言でまとめるならば、
「ジオラマも 気軽に作って いいじゃない!!」
って感じですかね。

◆お題～🪄🪄🪄～

今回製作するのは下図のシーン。

機動戦士ガンダム 鉄血のオルフェンズ 第一話「鉄と血と」よりガンダムバルバトスの初登場シーンです。

いやー、カッコ良かったですね。放送終わってからヨ○バシに買いに走ったら売り切れてましたよ。

今回はバルバトス単体でのジオラマにしました。



◆使うもの～ぬいものぬい～

以下のものを使用して製作を行ないます。



- ① HGIBO ガンダムバルバトス
今回はバルバトス自体は全く弄らず、
素組みに部分塗装、つや消し、
ウェザリングのみ行なっています。

本体の製作手法については、
他の人の記事や、模型誌のHow Toを
参考にしてください。(丸投げ)



- ② フォトフレーム
100円ショップにて購入。
様々なサイズやデザインのものがあるので、
好みや作品に合わせて適当なものを
チョイスしてください。



- ③ 粘土
100円ショップにて購入。
ジオラマ全体の形状作製用。
紙粘土や木粉粘土、石粉粘土等いろいろな
種類のものがありますが、
今回は手元にあったものから
木粉粘土をチョイスしてみました。
理由は特になし。





④ 新聞紙

使用する粘土の量を減らすための
かさ増しのためのもの。

どこの新聞でも機能的には変わらないはず。
今回はお試して届いていた読賣。



⑤ 透明プラパイプ

バルバトスの跳躍感を出すために使用。

目立たないように透明のものを使用しました。



⑥ 木工ボンド

紙や粘土をくっつけるための物。

一応100円ショップで購入。

